

1. 科目名 (単位数)	社会学概論 (2単位)	3. 科目番号	GELA1113
2. 授業担当教員	飯島 裕子		GELA1334
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は、国が定める社会福祉士および精神保健福祉士の養成カリキュラムにおける「社会学と社会システム」(旧カリキュラムでは「社会理論と社会システム」)に対応するものである。対人援助職に就く者には、被援助者とそのニーズを、社会的な関係性の中で把握することが求められる。人間は社会的な関係の中で生まれ育つものであるし、援助を必要とするような問題(ニーズ)も社会的関係の中から生ずるものだからである。こうしたことから、援助職に就こうとする者には、人間を取り巻く「社会」のなりたちや変化について観察・分析する学問である社会学の学習が必要となるのである。</p> <p>この講義では、社会学の基本的な考えかたと対象について幅広く取り上げる。また、国家試験などで求められる社会学の基本的な用語や知識についても学習する。</p>		
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会についての基礎知識を身につけて、物事をその社会的背景から考えられるようになる。 2. 人間と社会の関係について学び、人間を社会的関係の中で捉えられるようになる。 3. 社会問題について深く考察できるようになる。 4. 人々の生活について多角的に考えられるようになる。 5. さまざまな社会学の理論について学び、社会的な考え方ができるようになる。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	授業内容に関連した記事(新聞、雑誌、ドキュメンタリー等)にもとづくワークシート(理解の確認、要約、分析等)の提出を課す。さらにそれに沿ったディスカッションを行う時間を設ける。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 3 社会学と社会システム』中央法規出版、2021</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会学の理論や人間と社会の関係を理解し、説明できるようになったか。 ・現代社会や社会問題についての理解をもとに、自分の考えを述べることができるか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への参加姿勢等 20%</p> <p>レポート等の提出物 50%</p> <p>授業内容の理解度の評価 30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>社会学を学ぶことによって、私たちが経験する個人的な問題(ミクロ)を社会的な問題(マクロ)として捉えることができるようになります。新聞、雑誌、インターネットなどのニュース記事に積極的に目を通し、社会の動きについて知り、自分なりの問題意識を持つよう、心がけること。なお、本科目は国家試験科目であり、社会福祉士・精神保健福祉士を目指す人はしっかりした基礎知識を身につける必要があります。</p> <p><その他注意点>私語は厳禁。携帯電話の操作もしないこと。授業が始まってからは、勝手に退席しないこと</p>		
13. オフィスアワー	授業内で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション 社会学の視点	事前学習	教科書に軽く目を通し、全体像を把握しておくこと。
		事後学習	授業概要について理解し、わからないことがないか確認しておくこと。復習を兼ねて教科書序章「社会学とは」に目を通しておくこと。
第2回	社会構造と変動① 人口	事前学習	教科書第2章「第3節 人口」を読んでおくこと。
		事後学習	少子高齢化に関する講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第3回	社会構造と変動② グローバリゼーション	事前学習	教科書第2章「第4節 グローバリゼーション」を読んでおくこと。
		事後学習	グローバリゼーションに関する講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第4回	社会構造と変動③ 環境	事前学習	教科書第2章「第7節 環境」を読んでおくこと。
		事後学習	環境に関する講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第5回	社会構造と変動 まとめ	事前学習	これまでの学習を振り返り、わからない点をまとめておくこと
		事後学習	「第2章社会構造と変動」を通して不明な点、理解できていない点がないか確認しておく。

第6回	市民社会と公共性 社会的格差(1)	事前学習	教科書第3章「第1節 社会的格差」(1) 格差、(2) 格差と貧困を読んでおくこと。
		事後学習	社会的格差とは何か、基本事項に関する講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第7回	市民社会と公共性 社会的格差(2)	事前学習	教科書第3章「第1節 社会的格差」(3) 雇用格差、(4) 教育格差を読んでおくこと。
		事後学習	社会的格差に関する講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第8回	市民社会と公共性 差別と偏見(1)	事前学習	教科書第3章「第3節 差別と偏見」(1) 社会排除・包摂、(2) 偏見、(3) 差別を読んでおくこと。
		事後学習	差別と偏見の構造について講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第9回	市民社会と公共性 差別と偏見(2)	事前学習	教科書第3章「第3節 差別と偏見」(4) 容易にない差別、(5) ソーシャルワーカーはどう向き合うべきかを読んでおくこと。
		事後学習	差別と偏見の現実と課題について講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第10回	市民社会と公共性 まとめ	事前学習	これまでの学習を振り返り、わからない点をまとめておくこと
		事後学習	第3章「市民社会と公共性」を通して不明な点、理解できていない点がないか確認しておく。
第11回	生活と人生 家族とジェンダー	事前学習	教科書第4章「第1節 家族とジェンダー」を読んでおくこと。
		事後学習	家族とジェンダーに関する講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第12回	生活と人生(1) 労働	事前学習	教科書第4章「第3節 労働」(1) 賃労働の誕生を読んでおくこと。
		事後学習	労働に関する基本事項について講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第13回	生活と人生(2) 労働	事前学習	教科書第4章「第3節 労働」(2) 労働市場の性質とルールを導入を読んでおくこと。
		事後学習	労働市場におけるルール等について講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第14回	生活と人生 世代	事前学習	教科書第4章「第4節 世代」を読んでおくこと。
		事後学習	世代に関する講義とディスカッションに関して、自分の問題意識に沿ったコメントペーパーを記入する。
第15回	生活と人生 まとめ	事前学習	授業全体を通して不明な点、理解できていない点がないか確認しておく。
		事後学習	これまで学習した内容をしっかり復習し、わからない点をまとめておくこと。

期末試験